

# Istanbul Weekly vol.5-no.25

## イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年7月15日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治**：エルドアン大統領、シリア人難民へのトルコ国籍付与に言及。  
 ユルドゥルム首相、イラク、シリア、エジプトとの関係正常化に言及。
- 経済**：日本からオズイルハン・アナドル・グループ CEO への叙勲祝賀レセプションが開催。  
 ロシア、トルコへの旅行制限を解除。
- 治安**：アタテュルク国際空港におけるテロ事件の背景が徐々に明らかに。  
 トルコ・ロシア間の対テロ情報分野における協力。
- 社会**：マルマライ、イエニカプ駅にX線装置が設置。  
 宗務労働組合は、モスクでのポケモン GO のゲームの禁止を要求。

### 政治

#### 【内政】

#### ●エルドアン大統領、シリア人難民へのトルコ国籍付与に言及

(1)エルドアン大統領は2日、訪問先のキリス県でのイフタルの席上、トルコにおけるシリア人難民について、彼らが希望すればと前置きした上で「内務省による審査を経た上で、トルコ国籍取得の機会を与える」と発言した。(7月3日付M紙1面)

(2)同発言に対し、野党などから集票狙いの施策である等の反発を招いている他、国民の間の反発も強いとされている。また、約300万人とされるトルコ国内のシリア人難民について、初期段階では学歴のある富裕層を対象にするなど条件を付けて段階的に開始し、最終的な上限を30万人とするなどの制限をかける可能性等も取り沙汰されている。(7月10日付HT紙インターネット版)

#### ●国会内規の改正を巡って与野党の攻防が激化

国会内規の改正を巡って14日から国会本会議で議論が開始されるが、与野党間の攻防が激しくなっている。野党側は、国会中継全ての放映の実現（現在週3日）を要求するも、与党側は難色を示しているとされる。また、AKPは、各党が発議する動議の審議時間の大幅削減を求めており、野党側はこれに強く反発している。(7月14日付C紙4面)

#### ●議員不逮捕特権の剥奪プロセス開始、最初の招致はMHP党首

先般の憲法改正を受けて、国会議員の不逮捕特権の剥奪プロセスが開始された。これまでに捜査令状が発出されている議員の内、HDP議員らが検察からの招致を拒否した一方、最初に検察の捜査招致に応じたのはバフチェリMHP党首となった。同党首は過去の発言が扇動罪に相当すると指摘された点を否認し、不起訴とされるよう求めた。(7月14日付H紙23面)

### 【外交】

#### ●ユルドゥルム首相、イラク、シリア、エジプトとの関係正常化に言及

(1)11日、ユルドゥルム首相は、イラク、シリア、エジプトとの間で対立を悪化させる理由はないとして、これらの国々との関係正常化を図っていくと明言した。(7月11日付M紙インターネット版)

(2)13日、ユルドゥルム首相は、党内の会合で、今後もさらに国内外に友好の輪を広げていくとして、「シリアとの間でも関係正常化を目指す。その必要性がある。」と述べた。(7月14日付H紙1面)

#### ●トルコ政府、オジャラン写真掲載のEU議会での展示に強く抗議

欧州議会の本部ビルで開催されている展示会でオジャランPKK指導者等の写真が含まれていることに対し、トルコ政府の反発が続いている。大統領府と外務省の抗議に引き続き、チェリッキEU担当大臣は13日、「テロ組織のプロパガンダを行う展示が行われていることは、欧州議会のドアが犯罪者に開かれたことを意味する。」と強く抗議した。(7月14日付M紙1面)。

### 経済

#### 【マクロ経済】

#### ●5月の貿易赤字、25%減少

統計庁の発表によると、トルコの5月の貿易赤字額は、前年同月比25.5%減少し50億5000万ドルとなった。輸出額増加と原油価格低下が影響。輸出額は同9.6%増加して121億4000万ドル、輸入額は同3.8%減少し171億9000万ドル。輸出相手国は、1位が英国(13億ドル)であり、2位がドイツ(11億ドル)、3位がイラン(6億7300万ドル)となっている。輸入相手国は中国が20億ドルで最大。(6月30日付DAILY SABAH紙インターネット版)

### ●上半期の輸出、4%減少

トルコ輸出業者協会 (TIM) の発表によると、トルコの上半期の輸出額は、前年同期比 3.8%減少し 706 億ドル。高まる地域リスク、為替リスク、欧州の経済回復の遅さが影響した。6月の輸出は、前年同期比 1.8%増加し 118 億ドル。分野別では自動車は 21 億 3000 万ドル、既製服が 15 億ドル。(7月1日付 HDN 紙インターネット版)

### ●6月の自動車輸出額、2008年以降で最高

自動車産業輸出業者協会によると、6月のトルコの自動車輸出額は前年同月比 9%増加し 21 億ドルで 2008 年 7 月以降最高となった。最大の輸出先はドイツで、同 15%増加し 3 億 3000 万ドル。(7月3日付 HDN 紙インターネット版)

### ●6月のインフレ率、予想以上に上昇

6月のトルコの年間インフレ率は前月の 6.58 から 7.64 に上昇。主にラマダン月の食料価格高騰が主な要因となり、予想以上にインフレ率が上昇した。(7月4日付 HDN 紙インターネット版)

### 【経済政策】

#### ●上半期のトルコの労働許可証発行数は 3 万 8000 件

今年上半期にトルコで発行された労働許可証の数は 3 万 8261 件。国別にみると、シリア (5502 件)、ジョージア (3793 件)、ウクライナ (3712)、中国 (2041) の順に多い。(7月8日付 HDN 紙インターネット版)

### 【観光関連】

#### ●ロシア、トルコへの旅行制限を解除

6月30日、ロシアのプーチン大統領は、トルコへのツアー旅行販売制限を解除する大統領令に署名し、トルコへのチャーター便を許可するよう政府に指示した。これを受け、7月9日、ロシアからアンタルヤへのチャーター便が再開し、観光客 189 名がトルコを訪問した。(7月11日付 HDN 紙 10 面他)

#### ●トルコ、ロシアと観光分野における協力促進

トルコの外務省、文化観光省、運輸海事通信省、内務省及び観光業代表者からなる代表団が、ロシア側の招待を受けてロシアを訪問し、14日に会合を行う。トルコ - ロシア間のチャーター便再開の準備、観光客の安全対策、観光業における今後の新たな協力分野等について意見交換を行う予定。(7月14日付 HDN 紙 1、10 面)

#### ●バイラム中のホテル稼働率、80%超

ラマダン明けの 9 日間のバイラムの休暇中、エーゲ海及び地中海地域のホテルの稼働率は 80%を超えた。(7月5日付 HDN 紙インターネット版)

### 【その他】

#### ●バイラム中のイズミット大橋利用車両数は約 100 万台

バイラム期間中、6月30日にオープンしたイズミット大橋を通行した車両は 95 万台に達した。同期間中は、通行料が無料となっていた。(7月12日付 HDN 紙 10 面)

#### ●イスタンブールの住宅価格の上昇率は世界 3 位

英不動産コンサルティング大手のナイト・フランクが発表した、今年第 1 四半期の世界主要 150 都市における住宅価格上昇率ランキングで、イスタンブールが第 3 位となった。上位 5 都市は、新セン (前年同期比 62.5%)、上海 (同 30.5%)、イスタンブール (同 19.6%)、南京 (同 17.8%)、北京 (17.6%)。イズミルは同 16.7%で 9 位、アンカラは同 9.9%で 27 位。(7月13日付 HDN 紙 11 面他)

#### ●法人税納税額、中央銀行がトップ

2015 年のトルコの法人税の納税額ランキングによると、中央銀行が 23 億 5000 万リラで第 1 位。次いで、Ziraat 銀行 (7 億 7290 万リラ)、Akbank (7 億 3810 万リラ)。個人の所得税の納税額ランキングでは、コチ・ホールディング役員のセマハット・セフィム・アルセル氏が 4510 万リラで 1 位。次いで元コチ・ホールディング会長のラフミ・コチ氏 (4432 万リラ)、エンカ・ホールディング名誉会長のシャルーク・タラ氏。(7月14日付 HDN 紙 10 面他)

#### ●日本からのオズシルハン・アナドル・グループ CEO に対する叙勲の祝賀レセプションが開催

13日、アナドル・グループ CEO のトゥンジャイ・オズシルハン氏に対して日本政府から勲章が授与されたことを記念し、イスタンブールで祝賀レセプションが開催された。岡在トルコ大使と江原在イスタンブール総領事が主催した同レセプションでスピーチを行ったオズシルハン氏は、いすず・伊藤忠及びアナドル工業ホールディングの間で交わされたトルコと日本の間の協力関係の歴史などを振り返りつつ、日本とトルコのさらなる経済関係の強化の必要性を訴えた。(7月22日付アナドル通信配信)

### 治安

#### ●アタテュルク国際空港におけるテロ事件の背景が徐々に明らかに

(1)アタテュルク空港の 3 人の自爆犯が借上げていたファータヒヒ区と同じアパート居住の 41 歳の女性は、「それまでなかったガスのような奇妙な匂いや、コソコソと何かを叩く音が聞こえていた、爆弾を作っているのではないかと感じていた。彼らは 3 ヶ月分の家賃を払っており、カーテンや窓を常に閉めて、エアコンを使っていた。」と述べた。また、他の女性は、「新しい入居者が不審だと警察に通報したが、警察は、心配いらない、我々は全てを知っている」と言われたと述べた。(7月1日付 HT 紙 12 面)

(2)7月3日、空港テロ事件に関連して、ISIL 関係者 13 名が拘束された。また、今回のテロによる死亡者数は 47 名、負傷者 200 名以上となった。(7月4日付 HD 紙インターネット版)

(3)7月5日、空港テロ事件に関連して、更に 17 名が「武装テロ組織への加入」容疑で拘束された。そのうち 11 名は外国籍。また、ボイス・オブ・アメリカは、同空港テロ事件で逮捕された合計 30 名の ISIL 関係者のうち 1 名は、2001 年にアフガニスタンでタリバン戦闘員として拘束され、グアンタナモ収容施設で 2 年間拘束された後、ロシアに引き渡されたロシア人であると報じた。(7月6日付 HD 紙インターネット版)

(4)本件事件に関連してこれまで 37 名が拘束されており、その内 15 名がトルコ人であり、22 名が外国人。外国人の多くが、旧ソ連の共和国の出身者であるが、7 名の中東出身者(アルジェリア人 3 名、チュニジア人 2 名、エジプト人 2 名)が含まれている。(7月13日付 AFP 通信)

#### ●米軍はトルコへの家族帯同を禁止へ

6月29日、匿名の米国政府筋によると、トルコ国内での治安情勢の悪化を受けて、米国は、米軍と文民職員の家族のトルコへの帯同を今後長期間にわたって禁止する方針であるという。米国は、本年 3 月にアダナ県のインジルリッキ基地で勤務する軍人と文民職員の家族を帰国させている。今回のトルコ全土における家族帯同禁止の動きは、アタテュルク国際空港での自爆テロ事件の発生前から計画されていたという。(7月1日付 C 紙 4 面)

#### ●ISIL がラジコン型飛行機でのテロを計画?

昨年 8 月に拘束された ISIL 関係者の証言によると、ISIL

は、ラジコン型飛行機によるキリス県への攻撃を計画していたという。同ラジコン型飛行機には 50kg の爆薬が積載できたという。(7月1日付 HT 紙 17 面)

#### ●PKK 掃討作戦で高級盗難車 22 台や爆薬等を押収

ディヤルバクル県リゼで治安部隊が実施した PKK 掃討作戦において、PKK がテロ攻撃に利用しようとしていた盗難車 22 台を押収した。その多くは高級車であった。また、爆薬の原料となる硝酸アンモニウム 19 トン及び 160 億 TL 相当の違法薬物も押収された。(7月3日付 HD 紙インターネット版)

#### ●トルコ・ロシアの対テロ情報分野における協力

6月28日発生したアタテュルク国際空港テロ事件後、MIT とロシア連邦保安庁 (FSB) は、ISIL に参加する外国人戦闘員等についての情報共有を開始した。トルコからは、入国拒否扱いとなっているロシア及び旧ソ連諸国籍の約 7000 名分のリストがロシア側に共有された。FSB からは、ISIL と関係を持ち、トルコを経由してシリアに入国したものとみられるロシア国籍者に関する情報が共有されたという。両国関係の正常化に伴い、7 月中にもハイレベルのインテリジェンス会合の開催が検討されている。(7月3日付 H 紙インターネット版)

#### ●南東部で PKK の攻撃続く

6日、ヴァン県バフチェサライ郡において、PKK が郡庁舎等に対して、マシンガンとロケット砲で攻撃を行い、郡長の公舎が被害を受けた。また、同日、ハッカリ県では、高速道路を走行中に PKK に誘拐されていた村落警護員が殺害された。(7月8日付 HD 紙 3 面)

#### ●南東部 PKK による 3 カ所の攻撃で 10 名死亡

9日、マルディン県において、ジャンダルマ(軍警察)駐屯所に対する PKK の自動車爆弾攻撃により、兵士 2 名と市民 1 名が死亡した。また、10日、ハッカリ県において、PKK の路肩爆弾攻撃により、軍用車両に乗車していた兵士 5 名が死亡した。更に、同日、ヴァン県では、PKK の自動車爆弾攻撃により、兵士 1 名と村落警護員 1 名が死亡した。(7月11日付 HD 紙 3 面)

#### ●ISIL は、ヨーロッパへのトルコ迂回ルートを使用開始

情報筋によると、ISIL は、戦闘員等をシリアからヨーロッパに送り込む際に、アゼルバイジャンやキプロス、ジョージアを経由するトルコ迂回ルートを使い始めているという。また、ISIL は、有志連合による ISIL 掃討作戦が進められる中、トルコやアゼルバイジャン、ヨーロッパでのテロを計画しているという。特に、アタテュルク空港テロ事件以降は、警察が ISIL のテロ攻撃の標的となっており、警察関連施設への自動車爆弾攻撃の脅威が認められるという。(7月11日付 HD 紙インターネット版)

#### ●フランスが在トルコ公館を閉鎖

13日、在イスタンブール・フランス総領事館でナショナルデー・レセプションが開催される予定であったが、同日、同フランス大使館及び同総領事館は、治安上の具体的な脅威情報があったとの理由で、同レセプションを中止すると共に、在トルコの各公館活動を当面閉鎖すると発表した。(7月14日付 HT 紙 13 面)

#### ●イスタンブールで、テロに対する警戒が高まる

(1)14日、シルケジのトラム停留所に置かれた不審な袋に関する通報を受けて警察がー帯を封鎖。捜査の結果、不審物ではないことが判明。(7月14日付 M 紙インターネット版)

(2)13日の仏総領事館の閉鎖を受けて、14日、イスティクル通り及びタクシム広場、仏総領事館周辺のパトロールが強化された。(7月14日付 M 紙インターネット版)

(3)14日朝、タクシム広場付近で不審な袋が発見され、ゲ

ジ公園及びタクシム駅のゲジ公園側入り口が閉鎖。捜査の結果、袋には毛布が入っており、不審物ではないことが判明。(7月14日付 M 紙インターネット版)

(4)14日、マルマライ地下鉄の入口で、乗車客に対する身辺チェックが行われ始めた(7月14日付 M 紙インターネット版)

(5)14日、市内のメトロバスの各停留所で、複数の警察官から成るチームが警戒態勢で巡回を行っている。(7月14日付 E 紙インターネット版)

(6)14日、アヤソフィアの入口でも、特別警戒態勢が取られた(7月14日付 R 紙インターネット版)

## 軍事

#### ●外相、米国との軍事協定を認める。

5日、チャヴシュオール外相は、ル・モンド紙のインタビューに答え、シリアのマンビジ周辺での対 ISIL 有志連合による軍事作戦に関し、「米国は、トルコとの間で合意した内容を遵守している」「本件合意は軍事機密であり話せない」と述べた。トルコ政府は、米国に対して、マンビジでの ISIL 掃討作戦が終了した後は、PYD をマンビジ周辺から撤退させることを要求していたと言われている。(7月5日付 HD 紙インターネット版)

#### ●NATO 首脳会合、対 ISIL でトルコ上空に早期警戒機派遣で合意

9日、NATO 首脳会合で、対 ISIL 有志連合の空爆を支援するため、早期警戒機 (AWACS) をトルコ領空にて運用することで合意した。(7月11日付 HD 紙インターネット版)

## 社会

#### ●マルマライ、イェニカプ駅に X 線装置が設置

6月28日にアタテュルク国際空港で発生したテロを受けて、警察は警備のレベルを引き上げている。その一環としてマルマライ、イェニカプ駅の入り口に新たに X 線装置が設置された。今後、イェニカプ駅構内に入場するためには、警察及び警備員が配備されたセキュリティーチェックを通過する必要がある。(7月8日付 HT 紙 18 面他)



(写真は 7 月 7 日付 HT 紙インターネット版から)

#### ●ボドルム近郊の山火事で 9 時間延焼

10日、ムーラ県ボドルム市で山火事が発生し、2000 本のオリーブの樹木を含む合計 48 ヘクタールが延焼し、発生から 9 時間後に鎮火した。この山火事により、3 軒の馬小屋と 1 軒の倉庫が燃えた他、5 人が軽傷、また煙を吸った 6 人が病院に搬送された。火事の原因は、ピクニック客の火の不始末とみられ、風の影響で短時間で燃え広がった。(7月11日付 HT 紙 20 面他)





(写真は7月10日付M紙インターネット版から)

●**ラマザン・バイラム同様、犠牲祭休暇も9日間の連休になる可能性**

アヴジュ文化観光大臣は、NTVの生放送で、9月の犠牲祭を9日間の連休とする可能性を示唆した。アヴジュ大臣は、今月のラマザン・バイラムを9日間の連休とした関係で、国内旅行が活発化したことを挙げ、犠牲祭後の9月16日(金)を休日とすることで、犠牲祭の連休は9日間となり、観光業の支援に資することになるだろうと語った。(7月12日付HT紙5面他)

●**宗務労働組合は、モスクでポケモンGOのゲームを禁止にするよう要求**

スマートフォンの位置情報を利用して街中でポケモンを捕まえるゲーム、ポケモンGOがソーシャルメディアで話題になっている一方、宗務労働組合のメフメット・バイラクトゥタル代表は、礼拝を行うモスクでゲームを行うことはモスクの重要性を軽んじる行為であり、ポケモンGOを禁止すべきだと批判した。また、保健省はポケモンGOについて、午前11時から16時の間はゲームでポケモンを探すことを推奨しないとツイッターを通じて発表した。(7月14日付HT紙22面他)

●**グランドバザールの大規模改修工事がスタート**

グランドバザールで、数百万ドル規模の大規模改修工事が7月14日からスタートする。今後5年間にわたる改修工事は、屋根から始まり下水道、空調、地下システムの順で行われる。なお、グランドバザールの屋根の損傷は、2012年の映画「007」シリーズの「スカイフォール」の撮影が引き金となったと言われている。(7月14日付HT紙21面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイード系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MİT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.7.15 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	2件	5件	0件	2件	0件	12件	0件	1件

●今週は、被害の報告はありませんでした。

★当館 HP 更新のお知らせ★

●江原総領事のイスタンブール県知事訪問 (7/14) **NEW**

●治安速報：テロ警戒態勢情報 (07/14) **NEW**

●【スポット】トルコ：イスタンブール市アタテュルク国際空港における自爆テロに伴う注意喚起 (06/29) **NEW**

●熊本地震への義援金・救済金について (5/10) **NEW**